

令和5年度 学校図書館基本計画・評価シート

足立区立第五中学校 校長 石井 秀生

1 学校教育目標

- 基礎基本を身につけ、自ら進んで学ぶ生徒
- 心身ともに健康で、思いやりのある生徒
- お互いに協力しあい、ともに向上する生徒

2 学校図書館の目標・ねらい ー身に付けさせたい資質・能力、意欲・態度ー

- 学校図書館を活用し、読書の楽しさを教え、心豊かな生徒を育てる。
- 学校図書館の情報を効果的に活用し、主体的に学ぶ生徒を育てる。
- 学校図書館を活用し、自分を表現できる生徒を育てる。
- 読書に親しみ、読書習慣と読書力を付ける。

3 学校図書館の現状（令和4年度末）

蔵書状況	① 蔵書数	11585 冊（蔵書基準冊数 8480 冊）		／ 蔵書率 137%							
	② 新規購入図書	410 冊		／ 廃棄図書 668 冊							
		／ 増減冊数		258 冊減							
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類	
蔵書構成割合	3%	3%	11%	10%	11%	5%	3%	7%	8%	39%	
*国基準	6%	5%	16%	10%	15%	6%	5%	8%	6%	23%	
利活用の状況	① 開館時間	12:30～17:30				(前年度からの変更 あり・なし)					
	② 生徒一人あたりの年間平均貸出冊数	1.06 冊				(前年度末： 1.97 冊)					
	③ 学校図書館利用率	87%				(前年度末： 172%)					
（令和5年度末）											
蔵書状況	① 蔵書数	10,510 冊（蔵書基準冊数 8,480 冊）		／ 蔵書率 124%							
	② 新規購入図書	470 冊		／ 廃棄図書 1,545 冊							
		／ 増減冊数		1,075 冊							
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類	
蔵書構成割合	3.3%	3.2%	11.2%	10.3%	11.1%	5.6%	3%	7.7%	7.6%	37%	
*国基準	6%	5%	16%	10%	15%	6%	5%	8%	6%	23%	
利活用の状況	① 開館時間	11:30～16:00				(前年度からの変更なし)					
	② 生徒一人あたりの年間平均貸出冊数	2.39 冊				(前年度末： 1.06 冊)					
	③ 学校図書館利用率	343%				(前年度末： 87%)					

4 目標達成に向けた今年度の重点指導事項・具体的取り組み

第1学年	①全校で取り組む朝読書と連携し、読書に親しむ意欲を育成する。 ②学校図書を活用した単級活動を通して、資料の探し方や活用の仕方を学ばせる。 ③図書の借り方や扱い方等、正しく利用する態度を育てる。
今年度の成果目標	達成基準
①休み時間や放課後の時間等、積極的に学校図書館を活用して、読書ができる。 ②図書館の本や新聞等を活用しながら探究活動を進め、課題に対して必要な資料を探ることができる。 ③学校図書館のきまりや仕組みを知る。	①生徒一人あたりの年間貸し出し平均冊数前年度比10パーセント増 ②図書や新聞、ICT機器を活用した、探究活動の授業等を年5回以上実施するクラスの割合100% ③学校図書館オリエンテーションの学年全生徒の受講率100%
目標達成状況	
①第1学年の生徒一人あたりの年間貸し出し平均冊数は、前年度比49%増となった。 ②AIドリルや資料を活用した授業について年間を通じ、各教科で行った。 ③学校図書館オリエンテーションの学年全生徒の受講率は、国語科授業内で100%となった。	

第2学年	①全校で取り組む朝読書と連携し、自分の関心に応じて、色々な読み物を読もうとする意欲を育てる。 ②課題に応じて、本や新聞、ICT 機器を使い分け、必要な資料を選び取ることで、情報活用能力の育成を図る。 ③学校図書館のきまりや仕組みについて理解し、必要に応じた学校図書館の活用ができる。
今年度の成果目標	達成基準
①休み時間や放課後の時間等、主体的に学校図書館を活用して、読書を楽しむことができる。 ②図書館の資料を活用して、校外学習の事前学習や進路学習において、探求的な学習に取り組むことができる。 ③学校図書館のきまりや仕組みについて理解し、必要に応じた学校図書館の活用ができる。	①生徒一人あたりの年間貸し出し平均冊数前年度比 10%増 ②進路学習における課題、校外学習の事前課題提出率 100% ③図書や新聞、ICT機器を活用した、探究活動の授業等を年5回以上実施するクラスの割合 100%
目標達成状況	
①第2学年の生徒一人あたりの年間貸し出し平均冊数は、前年度比 78%増となった。 ②欠席者を除き、進路学習における課題、校外学習の事前学習課題提出率は 100%となった。 ③AI ドリルや資料を活用した授業について年間を通じ、各教科で行った。	
第3学年	①全校で取り組む朝読書と連携し、読書をとおして考えを広げたり、深めたりしようとする意欲を育てる。 ②学校図書や ICT 機器を活用した探究活動を通して、取材する力、表現する力を身に付けさせ、言語能力の育成を図る。 ③学校図書をよりよくするための活動を通して、主権者としての素養を育成する。
今年度の成果目標	達成基準
①休み時間や放課後の時間等、主体的に学校図書館を活用して、読書ができる。 ②修学旅行の事前学習で、図書館資料を活用して必要な情報を収集し、活用することができる。 ③学校図書館のきまりや仕組みについて理解し、よりよい仕組みについて考え、競技しながら、委員会活動を活性化させ、学校のリーダーとして下級生の模範となることができる。	①生徒一人あたりの年間貸し出し平均冊数前年度比 10%増 ②修学旅行の事前学習課題提出率 100% ③図書や新聞、ICT機器を活用した、探究活動の授業等を年5回以上実施するクラスの割合 100%
目標達成状況	
①第3学年の生徒一人あたりの年間貸し出し平均冊数は、前年度比 480%増となった。 ②欠席者を除き、修学旅行の事前学習課題提出率は 100%となった。 ③AI ドリルや資料を活用した授業について年間を通じ、各教科で行った。	
5 学校図書館環境整備に関する取組計画・方針及び成果・効果	
取組計画・方針	成果・効果
【蔵書・配架等に関すること】 ①蔵書構成の国基準を満たす分類項目が増加するよう新規図書購入計画を作成する。 ②書架図書室も含めた全蔵書の「3桁分類」への転換作業を推進する。	①蔵書構成の国基準を満たすよう購入計画を進め、足りない分類項目について購入に努めた。 ②書架図書室の整理を進め、全体の 65%作業が完了している。
【学校図書館支援員との連携・協働】 ①学校図書館オリエンテーションの実施、委員会活動の活性化等、支援員の積極的な連携・協働に取り組む。 ②調べ学習をはじめ、授業に必要な教材や資料について積極的に支援員への相談や情報交換を行う。 ③学校図書館だより展示・掲示の工夫・充実を図り、生徒の読書活動の向上に努める。 ④図書館ボランティアの協力の下、時期や季節に応じた装飾を廊下掲示板や室内で行い、親しみやすい図書館の運営を図る。	①学校図書館オリエンテーション、委員会活動を連携して取り組んだ。 ②授業に必要な教材や資料について、学校司書への相談や情報交換を積極的に行った。 ③各学級に学校図書館だよりを掲示した。 ④毎月ボランティアの方が装飾をして下さり明るく親しみやすい雰囲気の中、運営をすることができた。

【その他】

・学習図書委員会の活動を活性化させ、委員会だよりの発行を通して図書紹介を充実させる。また、手作りのしおりを希望者に配布するなどして、読書への関心を高めるとともに、学校図書館の利用率向上を推進する。

毎月委員会だよりの発行を行い、図書紹介を充実させることができた。また、読書補助具を作成し、来館者に配布を行った。

6 学校図書館運営全体に関する自己評価（成果・課題・改善の方向性等）

今年度は、昨年度全学年において生徒一人あたりの平均貸し出し冊数が減少傾向であったことから、学校司書と図書担当教諭だけでなく、学習図書委員会の活動を活性化させた。また、学校司書と教科担当が連携し、図書館に授業の参考資料となる漫画を蔵書として置くなど、来館者を増やす工夫を行った。その結果、全学年において図書の貸し出し冊数について大幅な増加傾向が見られた。しかし、図書館を全く利用していない生徒も依然としているため、今後も朝読書や授業、キャンペーンなどを通じて読書の楽しさ、面白さを伝えていく。

7 学校図書館の取り組みに対する評価・要望等（学校関係者から）

来年度も引き続き、貸し出し冊数や学校図書館の利用者数を伸ばすための対策を強化してほしい。